

# 日オランダ関係の概要について



**在オランダ日本国大使館**  
**Embassy of Japan in the Netherlands**

令和7年2月3日

## 日本とオランダの関係

## 1. 歴史

- 1600年にオランダとの交流を開始
- 19世紀半ばまでオランダは唯一の西欧貿易相手国
- 自由、民主主義、人権、法の支配等の価値を共有
- 戦略的パートナーシップ(2015年)
- 2025年は日オランダ交流425周年

## 3. 皇室と王室

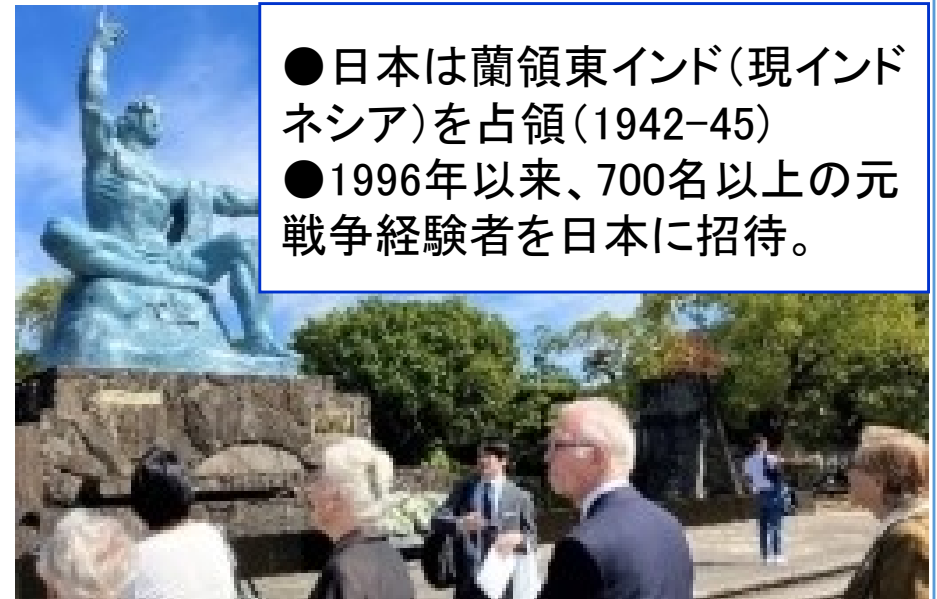
- 「国連水と衛生に関する諮問委員会」では天皇陛下が名誉会長、ウレム・アレキサンダー国王陛下が議長を務める。
- 国王王妃両陛下が国賓訪日(2014年)
- 即位の礼に国王王妃両陛下参列(2019年)

## 2. 主要な出来事 (2024年)

- 上川前外務大臣のオランダ訪問(1月、ハーグ)
- 岸田前総理、スホーフ首相と会談(7月、ワシントン)



## 4. 和解に向けた日蘭平和交流事業



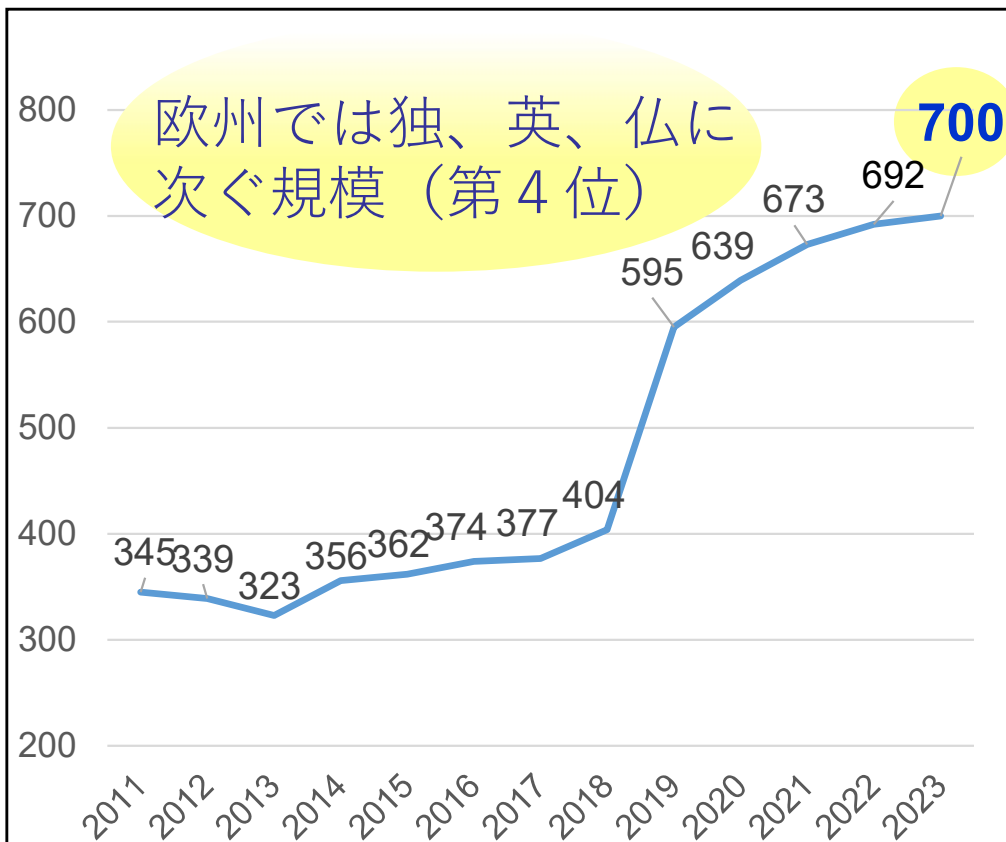
- 日本は蘭領東インド(現インドネシア)を占領(1942-45)
- 1996年以来、700名以上の元戦争経験者を日本に招待。

## 日本とオランダの経済関係ー 1

## 1. 日本とオランダの経済概況

オランダは地理的条件、恵まれたインフラや環境（英語、教育、安全等）を背景に、日本の主要貿易相手国として関係が深く、日系企業が多数所在。

## オランダ進出日系企業数



出典：在オランダ日本国大使館調べ（2023年）

## 1) 直接投資残高

日本→オランダ

20兆3,321億円

(欧州 第1位)  
(世界 第2位)

オランダ→日本

1兆4,695億円

(欧州 第4位)  
(世界 第8位)

出典：日本銀行／国際収支統計（2023年）

## 2) 貿易

輸出(日→オランダ)

一般機械  
電気機器  
輸送用機器(自動車の部品等)総額約1.9兆円  
(欧州 第2位)

輸入(オランダ→日)

一般機械  
電気機器(半導体製造装置等、  
電気計測機器等)  
医薬品

総額約0.5兆円

日本産農林水産物・食品の輸出額欧州第1位

出典：財務省貿易統計(2022年)

## 日本とオランダの経済関係－2

## 2. 日本とオランダの官民連携

両国が強みを有する分野で、官民を問わず協力が進展。

## 最先端技術(半導体等)

日オランダ経済省間で、半導体分野等での協力促進に向けたMoC(覚書)を締結(2023年)



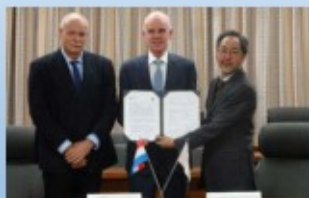
## 科学技術

日オランダ学術機関間 (JST-NWO) で、科学技術協力に関するMoCを締結(2023年)



## 農業

日オランダ農業省間で、日オランダ農業協力対話を定期的を実施



## 港湾

日オランダ国交省間で、港湾分野での協力促進に向けたMoCを締結(2021年)



## 日本とオランダの防衛交流

## 1. 概要

防衛省とオランダ国防省は、2016年に「**防衛協力・交流に関する覚書**」への署名を行った。両国は、法の支配に基づく自由で開かれた国際秩序を実現し、地域の平和と安定を確保するため、**様々な分野で連携を深化**させている。

## 2. 最近の主な防衛交流



オランダ軍参謀総長は、統合幕僚長の招待で**日本を公式訪問**した。（2023年4月）



統合幕僚学校とオランダ国防大学は、共通の関心分野における協力的な環境確立に向け**意図表明文書に署名**した。（2023年6月）



オランダ陸軍第11空中機動旅団は、陸自空挺団主催「**降下訓練始め**」に**初めて参加**した。（2024年1月）



**日オランダ防衛相会談**が実施された。（2024年6月）



オランダ海軍フリゲート艦「**トロンプ**」が長崎に寄港するとともに、**海自との共同訓練を実施**した。（2024年6月）



統合幕僚監部とオランダ参謀本部は、**第1回日オランダ幕僚協議**を実施した。（2024年6月）

## 日本とオランダの教育・文化交流①

## 1. 日本とオランダの教育交流

これまでに国費留学生として延べ200名のオランダ人が日本に留学している(2024年時点)。

なお、ライデン大学(1575年創立、オランダ最古の大学)は日本研究機関としては欧州最古の人文学部日本学科(1855年設立)を有し、日本の東京大学、京都大学、長崎大学等数多くの大学と学術連携している。



## 2. 日本と深い関わりがある文化施設

## シーボルトハウス[ライデン]

- ・ドイツ人医師・博物学者シーボルトが1830年に日本から戻り、1836年～1847年に居住していた建物。
- ・シーボルトが日本で収集したコレクションの一部を展示する記念館。



## ファン・ゴッホ美術館[アムステルダム]

- ・ゴッホは日本の浮世絵のコレクターで彼の作品作りに大きな影響を与えた。
- ・1999年に創設された美術館新館は日本の建築家：黒川紀章による設計。



## クリンゲンダール日本庭園[デン・ハーグ]

- ・1913年、ジャポニズムの影響下、オランダ人貴族ファン・ブリーネン男爵夫人が作った庭園。ハーグ市が管理。
- ・毎年2回、春は4月末から6月始めまで、秋は10月に2週間程度一般公開。



## ホータス・オーバーゼー日本庭園[デン・ヘルダー]

- ・2000年に日オランダ交流400周年を記念し、日本の造園関係者と日本庭園研究家の協力で作られた。
- ・毎年6月(週末)にジャパン・デーが開催される。



## 日本とオランダの教育・文化交流②

## 1. オランダから伝わったもの

## 治水技術

19世紀後半に、オランダ人技師コルネリス・ファン・ドールン(1837-1906)、ヨハネス・デ・レーケ(1842-1913)等が日本に治水工事の技術を伝えた。



## 言葉

例：



スコップ  
schop



コップ  
kop



ランドセル  
ransel



おてんば  
ontembaar

## 2. 日本から渡ったもの



2000年の日オランダ交流400周年を記念して、アムステルフェーン市ボス公園(400本)、ゴッホ美術館(61本)等の桜を寄贈。

## 3. スポーツ交流

## オランダで日本人選手6名が活躍中。

- ・オランダ1部リーグ「エールディビジ」には2024年現在、上田綺世(フェイエノールト)、毎熊晟矢(AZ)、小川航基(NEC)、佐野航大(NEC)、塩貝健人(NEC)、三戸舜介(スパルタ)各選手が在籍。
- ・これまでも小野伸二、本田圭佑、吉田麻也、堂安律等、多くの日本代表選手が在籍。



2024年4月、小野伸二選手の引退セレモニーにおいて在外公館長表彰(フェイエノールト・スタジアム)を授与。